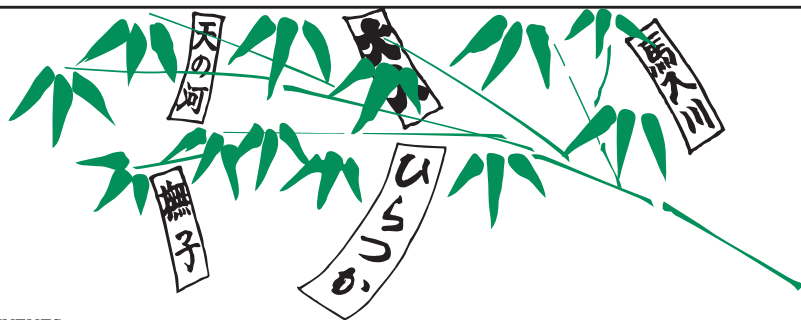




2010～2011年度 国際ロータリーテーマ  
BUILDING COMMUNITIES BRIDGING CONTINENTS  
地域を育み、大陸をつなぐ



## HIRATSUKA R.C. WEEKLY

- 会長 桐本美智子 ●副会長 小飯塚立雄 ●幹事 柏手 茂 ●会報委員長 工藤光和 (2010～2011年度) E-mail: hiraturc@ma.scn-net.ne.jp
- 例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 ●会場 グランドホテル神奈中 平塚2F ●事務局 平塚市松風町2-10 平塚商工会議所内
- 四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第2748回例会

2010年8月5日

グランドホテル神奈中

週報第2748号

### 本日の卓話者ご紹介



横浜ペンクラブ会長  
大河原英興 様

### 卓話

周五郎さんが亡くなられてから、もう四十二年が過ぎた。しかしその間、わたしの頭の中では常に周五郎さんの「ことば」が失せたことはない。

「山本周五郎語録」とは、われわれ担当編集者の間では、常に話題になっていたことばである。しゃべっているうちに、その一語一語が頭の中にはっきり残り、語り終わって会社へ出ても、家に帰っても、忘れられないで思わぬ時にふっと口に出てしまう。編集者現役のころは、これに更に作品を読まされるわけだから、やっていると中毒して「もう山本周五郎の作品は読みたくもない」と思う瞬間もしばしばあった。しかし、しばらくたつとまた、周五郎さんの「ことば」が日常生活の中でも浮かんで来ってしまうのだ。

これはわたしの場合、クラシックの名曲を何度かレコードで聴いているうちに、そのさわりのメロディーが、別に覚えようという気がなくても、そしてその後は全く忘れてしまっている、日常生中、そのこととは何の脈絡もないある瞬間、ふっと頭に、いや心の中に流れている状態に似ていた。

小林秀雄はその著「モーツァルト」の第二章の冒頭に、モーツァルトの短調交響曲第三楽章アレグロ・アッサイの、かの有名なフレーズが、大阪道頓堀繁華街をうろついていたある日、突然自分の頭の中で「鳴った」といい、楽譜のイラストまでつけて語っている。わたしの場合もまさにそれで、周五郎さんの「ことば」は、折りに触れてわたしの心の中で「鳴っていた」のである。

周五郎さんは常に正確をモットーとした人で、たとえ趣味にせよ、クラシック談義の際に不正確さは許さなかった。作曲家の作品などは、特にそうだった。だから木村さんは、彼岸で周五郎さんに叱られているに違いない。

もっとも、かくいうわたしだって、周五郎さんが「破棄してくれ」といわれた「八十七本」の原稿を公開して

しまっているのだから、破門されることは間違いない。

しかしそうしたことを越えて、わたしはこの世でもう一度、周五郎さんに会いたかった。この本を書くことによって、その望みがやっと少し達成できたのかな、とも思っている。

—山本周五郎 最後の日 あとがき より 抜粋—

### 卓話者プロフィール

横浜ペンクラブ会長 大河原英興様

昭和6年8月横浜生まれ。

昭和29年3月慶應義塾大学文学部西洋史学科卒。

4月(株)文藝春秋新社入社。

総務局調査部、文藝界、別冊文藝春秋、オール讀物、漫画讀本、週刊文春名編集部を経て、昭和47年4月出版局出版部長。

昭和50年4月編集総務部長。

平成3年8月定年退職。

平成4年7月(株)学芸通信社監査役。

平成7年8月同編集顧問。

平成12年7月同監査役。

横浜ペンクラブ会長、

横浜文芸懇話会副会長、

大衆文学研究神奈川支部長、

日本ペンクラブ会員

### <幹事報告>

◎平塚西RC会員 水島政利様が逝去されました。(享年63才)

ご冥福をお祈り申し上げます。

本日、葬儀・告別式:11:30～12:30/式場:カルチャー BONDS

◎ガバナー後藤定毅様より、クラブ訪問についてお礼状を頂きました。

◎09～10年度職業奉仕モデルプロジェクト表彰

昨年度内に実施したクラブによる職業奉仕プロジェクトから模範となるプロジェクトを地区3件選表彰致します。ご推薦下さい。

◎「第9回ロータリー全国囲碁大会」のご案内

基盤を通じて交流を図る会です。初心者、ご家族も是非ご参加下さい。

日 時:10/16(土) 10:00開会式

17:00表彰式

### <出席報告>

|           |         |         |             |            |        |       |            |
|-----------|---------|---------|-------------|------------|--------|-------|------------|
| 本 日 8月5日  | 会員数 59名 | 対象者 54名 | 出席者 39(35)名 | 出席率 64.81% |        |       |            |
| 前々回 7月22日 | 会員数 59名 | 対象者 54名 | 出席者 44(40)名 | 出席率 74.07% | MUP 4名 | 計 44名 | 修正率 81.48% |

会 場：日本棋院（東京・市ヶ谷）  
ホスト：東京ロータリークラブ  
登録料：6,000円 \* 事務局までお申込下さい。

### ◎第1回地区アクターズミーティング開催のご案内

日時：8/21（土） 登録13：00～ 点鐘13：30

場所：相模原市民会館 けやきの間

\* ご興味のある方どなたでもご参加頂けます。  
事務局までお知らせ下さい。

### <委員会報告>

#### ●親睦委員会 委員長 白石慎太郎会員 花火大会見学家族例会 報告

7月30日（金）は前日から続いた雨の中で朝を迎えました。花火大会本部から午後には快晴の予報につき花火大会を執行するとの連絡が午前11時過ぎに入るまで、例会を開催できるかどうかの瀬戸際にありました。そして、昨年から再開された花火大会見学家族例会は、予想以上の58人の参加登録を頂き今年の親睦委員会の始動事業として身の引き締まる思いの中で開催をされました。

今年の会場は平塚市馬入の㈱サンライフ本社の屋上を特別に貸して頂くことが出来ました、これは一重に嶋津会員と日ごろからロータリー活動に深い理解をして頂いている㈱サンライフの皆様のお陰です。また、㈱サンライフのスタッフの方々には午後2時から会場設営を開始して、受付開始の午後5時近くまで屋上に器材を運び入れると言った作業を炎天下の中で行って頂きました。このように色々な方々のご協力により今回の例会を開催することが出来たのです。

午後6時30分、桐本会長のご挨拶から例会が開始されました。料理はオードブルに始まり、寿司・おでん・お弁当を出して頂き、特に寿司については、寿司職人の方がその場で握って頂く新鮮なもので、参加した皆さんを

おもてなしすることが出来たと思います。7時30分、辺りも暗くなったころ、いよいよ花火の開始です。ビルの屋上から見る花火は、昨年とはひと味違う醍醐味があり約1時間で3000発の花火を涼しい風の中で楽しむことができたと思います。

今年の親睦委員会は新人14名の構成でスタートしました。夜空の花火のようにワクワクするような事業を今後も取り組んでいこうと思っております。そして、今回参加された会員の皆様に御礼を申し上げると共に、今回の例会を裏方で支えて頂いた多くの皆様に改めて感謝を申し上げます。

### いまさら聞けないロータリー知識 1

#### <歯車のエンブレム>

ロータリークラブ(Rotary Club)は、国際的な社会奉仕連合団体「国際ロータリー」のメンバーである単位クラブである。最初のクラブが例会場所を輪番（ローテーション）で提供しあったことから「ロータリー」の名がついた。

1905年、アメリカ・シカゴに最初のクラブが誕生。メンバーはクラブにおいて1業種1人が原則であったが、現在その縛りは緩められている。

“輪番”・“回転”にちなみ、6本スポークの歯車がシンボルマーク（エンブレム）である。

「国際ロータリー」は世界初の奉仕クラブ団体であり、200以上の国と地域に33000近くのクラブを擁し、会員数は120万人以上となっている。

\* イラストは、シンボルマーク



#### <メイクアップ>

4名

工藤・滝口・宅野・小野会員

#### <ゲスト>

大河原英典様（卓話）  
モーさん（米山奨学生）



#### <本日のスマイル>

22名

#### <卓話・行事予定>

- 8月26日（木） 群馬工業高等専門学校  
特命教授 工学博士 小島 昭先生  
9月 2日（木） 平塚市長 大藏律子  
9日（木） 入会記念卓話 嶋津良治会員  
16日（木） 地区会員増強・維持委員会より  
23日（木） 休会（定款により）

#### <市内例会変更>

平塚南 8/27 夜間家族例会



▲美しい花火の数々

#### ◀サン・ライフ本社ビル入口



▲お食事も堪能してます



◀白石親睦委員長とメンバー